

正誤表

『脳卒中の機能評価—SIASとFIM [基礎編]』に誤りがございました(第1版第1～5刷)。
下記の通り訂正し、謹んでお詫び申し上げます。

記

◆P131, 本文

【誤】 日常生活で遭遇する……(中略)……たとえば、10回に8回は正しい判断をしているのであれば、80%で3点というように考えるとよい。

【正】 日常生活で遭遇する……(中略)……たとえば、10回に8回は正しい判断をしているのであれば、80%で4点というように考えるとよい。

以上

2016年6月1日

金原出版株式会社

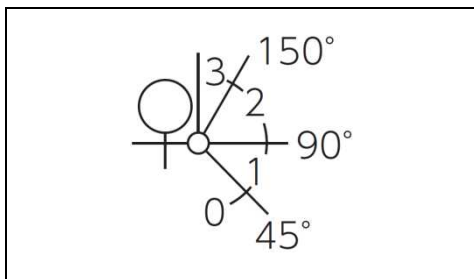
正誤表

『脳卒中の機能評価—SIAS と FIM [基礎編] 』（2014年3月7日，第1版第3刷発行）に誤りがございました。下記の通り訂正し，謹んでお詫び申し上げます。

記

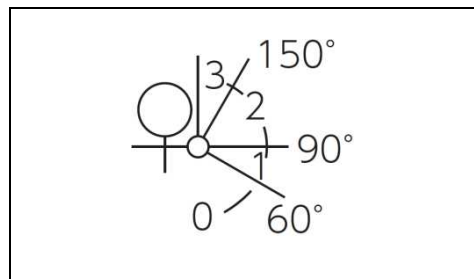
◆P71・P144, SIAS チャート：関節可動域の図

【誤】



（0点と1点を分ける角度=45°）

【正】



（0点と1点を分ける角度=60°）

◆P141, 疼痛：説明文

【誤】 脳卒中後に出現する肩関節……（中略）……視床痛などの中枢性麻痺を含む。

【正】 脳卒中後に出現する肩関節……（中略）……視床痛などの中枢性疼痛を含む。

以上

2015年4月1日

金原出版株式会社

正誤表

『脳卒中の機能評価—SIASとFIM [基礎編]』(2013年4月26日, 第1版第2刷発行)に誤りがございました。下記の通り訂正し, 謹んでお詫び申し上げます。

記

◆P58, 本文 (上肢関節可動域)

【誤】 他動的肩関節外転が45°より小さいとき(正常は180°)を0点とする。1点は外転が45°~90°まで, 2点は90°~150°までであることを意味する。3点は150°より大きく外転できる場合である(図2-16)。

【正】 他動的肩関節外転が60°以下(正常は180°)を0点とする。1点は外転が60°~90°以下, 2点は90°~150°以下であることを意味する。3点は150°以上外転できる場合である(図2-16)。

◆P142, 上肢関節可動域: 採点方法

【誤】 0: 45°未満
1: 45°~90°
2: 90°~150°
3: 150°より大

【正】 0: 60°以下
1: 60°~90°以下
2: 90°~150°以下
3: 150°以上

以上

脳卒中機能評価法(SIAS)の上肢関節可動域の採点方法は, 原法^{1, 2)}では45°を基準に0点と1点を分けていました。しかし, その後, 臨床的な観点から, 現在では60°を基準とするものに修正されているため, 上記の通り訂正いたします^{3, 4)}。

【文献】

- 1) Chino N, Sonoda S, Domen K, et al: Stroke Impairment Assessment Set (SIAS) - A new evaluation instrument for stroke patients -. Jpn J Rehabil Med 31: 119-125, 1994.
- 2) Chino N, Sonoda S, Domen K, et al: Stroke Impairment Assessment Set (SIAS) . In Chino N, Melvin JL eds: Functional evaluation of stroke patients, Springer-Verlag Tokyo, p19-31, 1996.
- 3) 千野直一 編: 現代リハビリテーション医学(改訂第2版) . 金原出版, p346, 2004.
- 4) 篠原幸人, 吉本高志, 福内靖男, 他編: 脳卒中治療ガイドライン2004. 協和企画, p227, 2004.

2014年3月7日

金原出版株式会社

正誤表

『脳卒中の機能評価—SIAS と FIM [基礎編]』(2012年12月26日, 第1版第1刷発行)に誤りがございました。下記の通り訂正し、謹んでお詫び申し上げます。

記

◆P96, 図3-9: 説明文

【誤】10カ所とも洗っている, または, 洗ってもらっている場合, 5点以上となる。

【正】身体の10カ所とも洗っている, または洗ってもらっている場合である。

◆P140, 下肢近位テスト=股屈曲テスト: 説明文

【誤】座位にて膝関節を90°より最大屈曲。必要なら座位保持を介助。

【正】座位にて股関節を90°より最大屈曲。必要なら座位保持を介助。

◆P140, 下肢近位テスト=股屈曲テスト: 採点方法

【誤】1: 下腿にわずかな動きがあるが足部は床から離れない

【正】1: 大腿にわずかな動きがあるが足部は床から離れない

◆P140, 下肢近位テスト=膝伸展テスト: 採点方法

【誤】2: 股関節の屈曲運動あり, 足部は床より離れるが十分ではない

【正】2: 膝関節の伸展運動あり, 足部は床より離れるが十分ではない

◆P141, 下肢遠位テスト=足パット・テスト: 採点方法

【誤】2: 股関節の屈曲運動あり, 足部は床より離れるが十分ではない

【正】2: 背屈運動あり, 足部は床より離れるが十分ではない

以上

2013年2月12日

金原出版株式会社